

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

Japan Patent Office
Utility Model Laying-Open Gazette

Utility Model Laying-Open No. 59-145965
Date of Laying-Open: September 29, 1984
International Class: A 63 B 71/14

(1 page in all)

Title of the Invention: Ball Catching Tool for Baseball

Utility Model Appln. No. 58-40292
Filing Date: March 18, 1983
Inventor: Nobuyoshi TSUBOTA
Applicant: MIZUNO CORPORATION

(transliterated, therefore the
spelling might be incorrect)

Partial Translation

What is claimed is:

A baseball glove prepared by forming a band body of a required length provided with two string portions on one side, forming a looped finger receiving portion with another band body from an end of a band portion thereof, bending said band portion to parallelly arrange another finger receiving portion adjacently to said finger receiving portion and inserting/binding said string portions into/to a hole provided on the base of a little finger stall of a body.

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59-145965

⑪ Int. Cl.³
A 63 B 71/14

識別記号

庁内整理番号
2107-2C

⑬ 公開 昭和59年(1984)9月29日

審査請求 未請求

(全 1 頁)

⑭ 野球用捕球具

大阪市都島区大東町1丁目13-1

⑮ 実 願 昭58-40292

⑯ 出 願 人 美津濃株式会社

⑰ 出 願 昭58(1983)3月18日

大阪市東区大川町25番地

⑱ 考 案 者 坪田信義

⑲ 実用新案登録請求の範囲

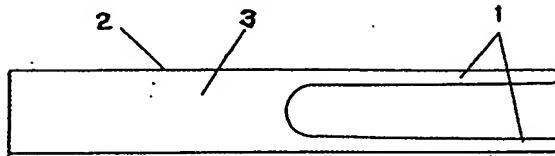
片側に二本の紐部を設けた所要長さの帯体を形成し、その帯部の端部から別帯体によってループ状指挿嵌部を形成し、該指挿嵌部に隣接して指挿嵌部を並設するように帯部を折曲げて、紐部を本体の小指袋基部に設けた穴に挿通結着したことを特徴とする野球用捕球具。

図面の簡単な説明

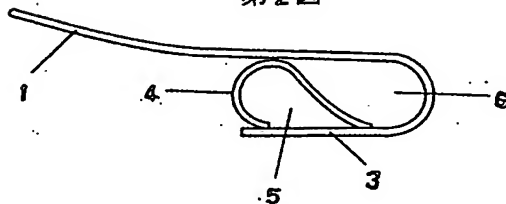
この考案の実施例を示すもので、第1図は帯体の平面図、第2図は同折曲げた側面図、第3図は野球用捕球具に用いた説明図である。

1, 1……紐部、2……帯体、3……帯部、4……別帯体、5, 6……指挿嵌部、7……穴、8……小指袋。

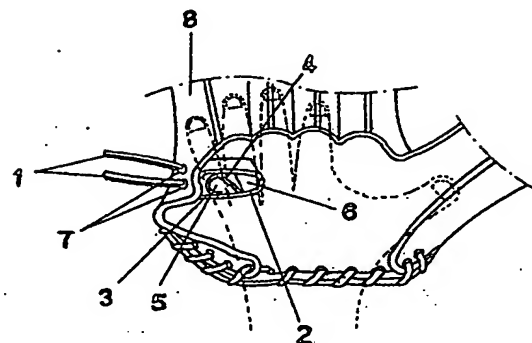
第1図



第2図



第3図



公開実用 昭和 59— 145965

⑨ 日本国特許庁 (JP)

① 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭59—145965

⑤ Int. Cl.³
A 63 B 71/14

縦別記号

庁内整理番号
2107—2C

④ 公開 昭和59年(1984)9月29日

審査請求 未請求

(全 頁)

⑧ 野球用捕球具

大阪市都島区大東町1丁目13—
1

① 実 願 昭58—40292

⑦ 出 願 人 美津濃株式会社

② 出 願 昭58(1983)3月18日

大阪市東区大川町25番地

③ 考 案 者 坪田信義

明 細 書

1. 考案の名称

野 球 用 捕 球 具

2. 実用新案登録請求の範囲

片側に二本の紐部を設けた所要長さの帯体を形成し、その帯部の端部から別帯体によってループ状指挿嵌部を形成し、該指挿嵌部に隣接して指挿嵌部を並設するように帯部を折曲げて、紐部を本体の小指袋基部に設けた穴に挿通結着したことを特徴とする野球用捕球具。

3. 考案の詳細な説明

この考案は野球用捕球具の改良に関するものであり、その目的は、小指袋に小指と薬指を挿嵌して使用する場合に、小指と薬指が一体動作し、かつ滑動を減じて捕球に使ならしめることにある。

従来より野球用捕球具には小指袋および親指袋の基部に指掛片を別個に形成し、小指および親指を各指掛片に挿嵌して使用するようにした構成が一般的であり、指掛片は捕球時にボール

の把握動作を容易にするとともに、使用中捕球具本体と手指との滑動及び抜け外れを予防するものである。

しかし、最近では小指袋に小指と薬指の二本を挿嵌し、薬指袋に中指、中指袋に人差指を挿嵌して人差指袋を遊ばせた状態で使用されることが多い。これは人差指袋に指を入れずに遊ばせたことによって捕球具内で自然な手指の状態を保ち、捕球具に迅速な把握動作に移り易い効果を奏するので、このような使用状態のプレーヤーが増加する傾向にある。

そこで、小指袋に小指と薬指の二本を一緒に挿嵌する場合、従来の指掛片では小指の安定性は得られるが、薬指は指掛片の外にあるから小指袋基部で遊びが生じて不安定になり、ひいては捕球動作の把握力が低下して落球する原因となっていた。

この考案はかかる使用状態において小指、薬指の安定性を良好にし、捕球確率が向上する野球用捕球具を提供するもので、その実施例を図



面について説明する。

すなわち、片側に二本の紐部 1, 1 を設けた所要長さの帯体 2 を形成し、その帯部 3 の端部から別帯体 4 によってループ状の指挿嵌部 5 を形成し、該指挿嵌部 5 に隣接して指挿嵌部 6 を並設するように帯部 3 を折曲げて紐部 1, 1 を本体の小指袋基部に設けた穴 7, 7 に挿通結着したことを特徴とする野球用捕球具とした。

この考案は上記のように構成したから、使用にあたっては、指挿嵌部 5 に小指、6 に薬指を挿嵌してのち、小指袋に小指、薬指を一緒に挿嵌し、薬指袋に中指、中指袋に人差指をそれぞれ挿嵌し、親指袋に親指を挿嵌し、人差指袋は指を入れずに遊ばせる。

かくて、小指と薬指は指挿嵌部 5, 6 によって保持され、両指は一体動作をすると同時に滑動しない。

かくて、捕球時において小指と薬指が滑ることなく一体動作を行い把握力を十分に捕球具に伝達することができるから、落球率が低減でき、

捕球具本体と手指の滑動も減少するので捕球確率のよい捕球具が提供できる。

4. 図面の簡単な説明

この考案の実施例を示すもので、第 1 図は帯体の平面図、第 2 図は同折曲げた側面図、第 3 図は野球用捕球具に用いた説明図である。

1, 1 . . . 紐部、2 . . . 帯体、3 . . . 帯部、4 . . . 別帯体、5, 6 . . . 指挿嵌部、7 . . . 穴、8 . . . 小指袋。

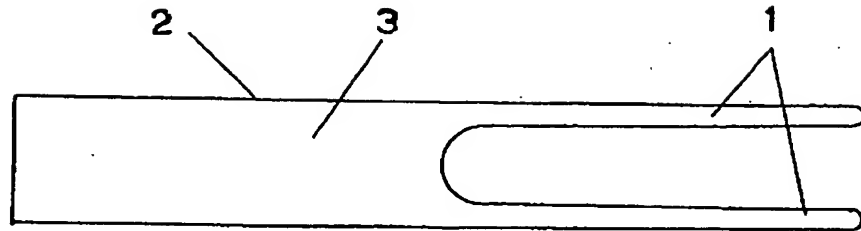
実用新案登録出願人

美津濃株式会社

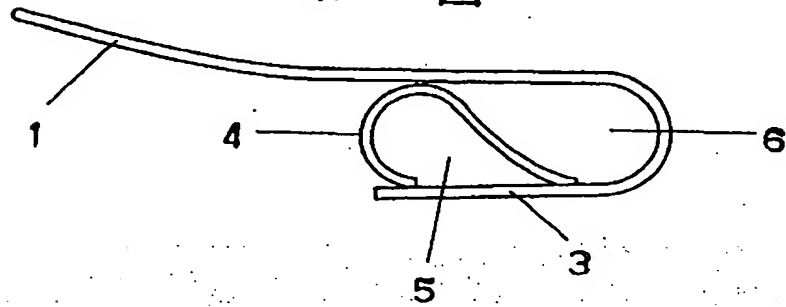
代表取締役 水野健次郎



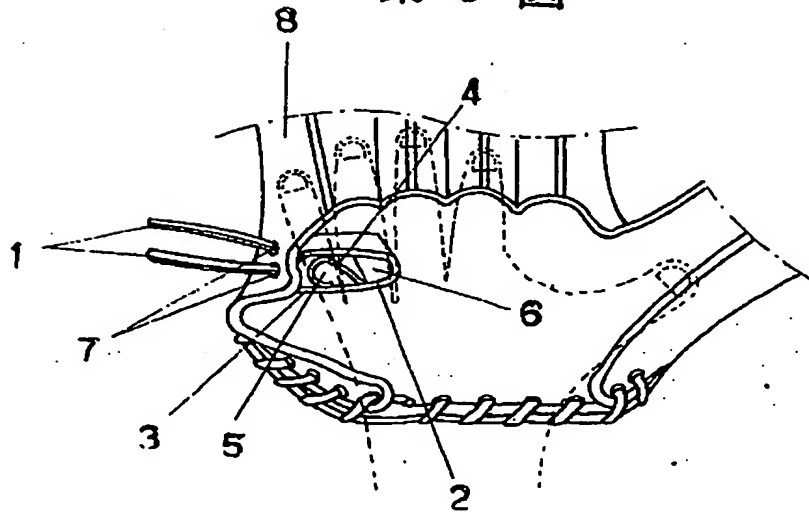
第 1 図



第 2 図



第 3 図



534

実開59-14596 5
実用新案登録出願人

美濃漫株式会社